愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	東邦プロジェクトＡ		
担当者(Instructors)	金 良泰	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

現在、日本の観光関連産業は新型コロナウイルスの影響で大きな打撃を受けている。訪日する外国人の観光客は急減しており、国内旅行も低迷が続いており地域経済への影響も少なくない。本授業では、ポストコロナ時代を想定して観光（産業）の視点に立って世界にアピールできる愛知県並びに名古屋の観光財産について考察する。具体的に、愛知県並びに名古屋が誇る観光財産を活かした国際化と地域の観光産業および地域経済の発展につながる戦略など模索し、最終的にはレポートとしてまとめることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	調査研究、プレゼンテーション。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業内容の説明、成績評価の方法、各自自己紹介	□
第2回	日本の観光(産業)の状況(1)	日本経済と日本の観光(産業）の状況を理解する	□
第3回	外国からみた日本の観光と訪日観光客誘致	外国からみた日本の観光(産業）を理解する	□
第4回	チーム編成とテーマ設定	チームごとにテーマ設定とディスカッション	□
第5回	チームごとに企画立案	テーマ設定と企画立案	□
第6回	チームごとに企画立案	テーマ設定と企画立案	□
第7回	チームごと調査内容の報告	テーマ設定と企画立案	□
第8回	チームごと調査内容の報告	チームごと調査した内容の発表とディスカッション	□
第9回	チームごと調査内容の報告	チームごと調査した内容の発表とディスカッション	□
第10回	チームごと調査内容の報告	チームごと調査した内容の発表とディスカッション	□
第11回	成果物完成とプレゼンテーション	テーマ成果に向けたプレゼンテーション	□
第12回	成果物完成とプレゼンテーション	テーマ成果に向けたプレゼンテーション	□
第13回	成果物完成とプレゼンテーション	テーマ成果に向けたプレゼンテーション	□
第14回	成果物完成とプレゼンテーション	テーマ成果に向けたプレゼンテーション	□
第15回	成果報告会	成果報告会	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【事前学習】チーム構成員と調査した内容を整理し、発表内容をまとめる(約2時間程度）【事後学習】授業内に発表とディスカッションで出された課題について考察し、次回の報告内容に反映する(約2時間程度)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業中に質問を受け、アドバイスする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

主体性	◆ 2019全学共通DP3	観光産業をはじめとするコンテンツ産業の発展可能性に目をむき、日本社会が取り組むべき課題について考えてみる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		60%	40%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題の実施過程とプレゼンテーションの内容、発言などを総合して評価する

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		